

とっておきの子育ての話

保育者からの
メッセージ



子どもと一緒に
絵本の世界へ
(3歳～4歳編)

自分の体験に近い親しみのある
お話を喜ぶ年齢です。自分の知っ
ているものを鍵かぎに、想像の世界へ
入っていきます。



平成18年1月編集・発行
平成21年1月改訂
平成24年9月改訂
令和8年3月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部 運営支援課



読み聞かせでこんないいことが！

大好きな人に
くっついて
とっても幸せ♡

読み聞かせの声とぬくもりに心地よさを感じ、信頼関係が深まります。

「なんで?」「どうして?」「もっと知りたい!」の気持ちを満たしてくれます。

絵と一緒に様々な言葉に触れることで、聞く力、理解力、想像力を育みます。

絵本から広がるこどもの世界

3～4歳頃になると、絵本や物語の中の人物に自分を重ね合わせながらお話を楽しむようになります。

生活や遊びの中で、こんな姿が見られるかもしれません♪

*絵本の中の言葉
や台詞がふいに
出てくる

*登場人物に
なりきる

「うんとこしょ!どっこいしょ!」

『おおきなかぶ』
をイメージして



*身近な大人や、友達と
絵本の中のやりとり
を再現する

<3～4歳のお子さんに人気の絵本>

<三びきのやぎのからがらどん>

マーヤ・ブラウツ／絵 瀬田貞二／訳
福音館書店

谷に架かる橋を渡ろうとする山羊の兄弟と、谷の魔物トロールとの知恵比べ。橋を渡るひづめの音や、山羊とトロールのやりとりに、思わず手に汗握るお話です。

<ぐりとぐら>

中川李枝子／文 大村百合子／絵
福音館書店

野ねずみのぐりとぐら。森で見つけた大きな卵で、フワフワのカステラを作ります。いつまでも胸に残るカステラの甘い記憶…こどもたちに大人気です。

<ラネコぐんだんパンこうじょう>

工藤ノリコ／作
白泉社



いつも大騒動を巻き起こすのに、おっちょこちょいでどこか憎めないノラネコぐんだん。

さてさて、パン工場ではいったい何をしでかすのかな?

<めっきらもっきらどおんどん>

長谷川摂子／作 ふりやなな／絵
福音館書店

お宮にある大きな木の根っこの穴に落ちたかんたは、迷い込んだ不思議な世界でへんてこな3人のおばけに出会います。不思議な呪文と一緒に唱えたい絵本です。

<あおくときいろちゃん>

レオ・レオーニ／作 藤田圭雄／訳
至光社

あおくときいろちゃんは、とっても仲良し。どこへ行くのも何をするのも一緒です。友達の大切さと、色の不思議さやおもしろさを教えてくれるお話です。

<みんなうんち>

五味太郎／作
福音館書店

生きるために食べ、食べるからうんちをする。それは呼吸をすることと同じくらい大切なこと。

知的好奇心が芽生える“かがく絵本”です。

